

令和5年度北信広域連合定期監査報告書

- 1 監査の日時 令和5年11月17日（金） 午前10時30分から午後2時
令和5年11月20日（月） 午前10時から午前11時30分
- 2 監査の場所 中野市豊田庁舎 第1会議室
- 3 監査の対象
 - (1) 期間 令和5年4月1日から令和5年9月30日まで
 - (2) 区分 令和5年度北信広域連合一般会計
令和5年度北信広域連合養護老人ホーム事業特別会計
養護老人ホームてるさと
令和5年度北信広域連合特別養護老人ホーム事業特別会計
特別養護老人ホーム望岳荘
特別養護老人ホームいで湯の里
特別養護老人ホーム菜の花苑
特別養護老人ホームふるさと苑
特別養護老人ホームてるさと
 - (3) 調書 各会計に係る会計現計表、予算執行状況、委託料調、賃貸借料調、工事請負費調、負担金交付金調、補助金調、備品調及び修繕料調並びに財政調整基金及び特定目的基金調及び広域連合債等明細書
- 4 監査の方法
定期監査に当たっては、令和5年9月末日における事務事業の執行（進捗）状況及び財務に関する事務について、あらかじめ提出された監査資料に基づき、関係職員から説明を聴取し、関係法令並びに議決予算の趣旨に添って適正かつ効率的に予算執行が行われているかを主眼に、予算（歳入・歳出）の執行状況、委託事務、工事請負状況、物品の取得管理、その他の事務について監査を実施した。
- 5 監査の結果
監査に付された9月末までの各会計歳入歳出予算執行状況、附属書類等、財務処理の監査を執行したが、いずれも適正に処理され、関係書類の整備は良好であることを確認した。
 - (1) 全体概要
令和5年度一般会計及び特別会計歳入歳出予算の執行状況は、収入済額911,092,513円（執行率39.5%）、支出済額990,320,954円（執行率43.0%）で、差引△79,228,441円となって

いる。

一般会計では、収入済額 61,366,824円（執行率32.6%）、支出済額 49,697,200円（執行率26.4%）で、差引 11,669,624円となっている。また、一般会計繰越明許費として収入済額 102,773,000円（執行率99.7%）、支出済額102,773,000円（99.7%）で、差引 0円となっている。

養護老人ホーム事業特別会計及び特別養護老人ホーム事業特別会計では、収入済額 746,952,689円（執行率37.1%、前年度執行率37.6%）、支出済額 837,850,754円（執行率41.6%、前年度執行率43.2%）で、差引△90,898,065円となっている。

(2) 監査委員意見

- ① 予算の執行状況はほぼ例年並みであるが、業務委託、工事請負、備品購入については、施設利用者や関係者の利便性に直結することから、関連業務との整合性や事務執行の規定等に注視し、早期執行に努められたい。また、検査や検収に当たっては、設計書、見積書等と照合しながら厳正に執行されたい。
- ② 未収金については、2,466,416円と前年同期に対し1,340,089円（前年比219%）と大幅に増加しているが、10月には701,222円（28.4%）が収入済となっており、未収金解消の成果が認められた。しかしながら、新たな未収金も発生しており、利用者との納入に向けた協議も引き続き実施していただき、その早期解消に努められたい。
- ③ 施設利用率については、新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症への感染対策の影響及び利用者の退所や長期入院等もあり、前年同期と比べ1.6ポイント減少している。今後は、面会規制の緩和や空きベッドの有効活用等により、一層の利用率向上に努められたい。
- ④ 職員の休職、退職により当初計画の職員数が確保できない状況もあることからサービスの低下や職員の過重労働とならないよう配慮願いたい。さらに、今後、最低賃金の上昇に伴い人件費の増加も見込まれるので、処遇の改善と同時に労働環境整備にも努められたい。
- ⑤ 物価高騰の中、一食当たりの賄材料単価は前年同期に比べ29円（11.7%）上昇しており、今後も原材料の高騰が予想されることから、より一層の取り組みに努められたい。
併せて、感染症の拡大や光熱水費及び物価の高騰が続くことが予想されることから、施設の管理運営に当たっては、より一層の対応に努められたい。
- ⑥ 新年度予算編成に当たっては、施設の老朽化や備品類の経年劣化が増えていることから、計画的な改修、更新がされるよう配慮されたい。
また、業務委託や賃貸借については、従来の慣行に捕らわれることなく、施設間の情報交換や契約内容の見直し等を行い、適正な対応を進められたい。